

学校施設の防災対策セミナー

「EARTH員になるまで ～そして被災地派遣へ～」



兵庫県教育委員会事務局教育企画課
指導主事 中森 慶

震災・学校支援チーム（EARTH）の活動について

1. 概要

兵庫県では、阪神・淡路大震災の経験と教訓を生かすとともに、震災時に全国各地から受けた支援に報いるため、平成12年4月に県内公立学校教職員で構成する「震災・学校支援チーム」(EARTH)を設置（現在総勢238名の現役教職員で構成）。この間、全国各地の被災地を支援してきた。

2. 組織と活動内容

(1) 組織

EARTH運営委員会・EARTH運営委員会事務局

・派遣者の選出 ・組織の編成 ・訓練・研修内容の検討 ・運営委員会開催の準備 ・訓練・研修の実施 ・派遣に伴う連絡調整

学校教育班	心のケア班	避難所運営班	学校給食班	研究・企画班
〈構成員〉 ・県内公立学校の主幹教諭・教諭・養護教諭・事務職員及び栄養教諭等 ・防災教育推進指導員養成講座上級修了者及び教育復興担当教員の経験を有する者				〈構成員〉 ・班長、防災教育専門推進員経験者
・各班には班長1名と、副班長を若干名を置く ・各地区にはリーダー1名、サブリーダー1名を置く				
活動内容				
〈災害時〉 ① 学校教育応急対策と早期再開に向けての支援 ② 児童生徒等の心のケアの支援 ③ 学校における避難所運営支援 ④ 学校給食の早期再開と食生活の支援		〈平時〉 ① 各種研修活動等での指導助言 ② 各学校での兵庫の防災教育の推進 ③ 各地域の地域防災体制への協力 ④ 防災士等各種団体との連携		

3. これまでの主な派遣実績

（平成12年の立ち上げ時より随時活動）

平成16年 **平成16年新潟県中越地震**に係る支援活動（先行調査3人、支援派遣6人）

平成19年 **平成19年新潟県中越沖地震**に係る調査（3人）

平成23年 **東日本大震災**に係る支援活動（平成27年まで8回派遣、のべ194人）

平成28年 **平成28年熊本地震**に係る支援活動（調査派遣1回、支援派遣6回、のべ93人）

平成30年 **大阪府北部地震**に係る支援活動（調査派遣2回 支援派遣5回、のべ80人）

平成30年7月豪雨に係る支援活動（岡山県）（調査派遣1回、支援派遣5回、のべ81人）

北海道胆振東部地震に係る支援活動（調査派遣1回 支援派遣2回、のべ15人）

令和 6年 **能登半島地震**に係る支援活動（石川県珠洲市）（調査派遣2回、支援派遣10回、のべ119人）

4. これまでの活動の様子（一例）

平成28年熊本地震に係る支援活動

（平成28（2016）年4月14日、16日発災）

活動実施：発災後3日目～

派遣期間：先遣隊：平成28（2016）年4月16日～18日

～第6次：平成28（2016）年8月22日～26日（のべ93人を派遣）

平成30年7月豪雨（岡山県倉敷市）に係る支援活動

（平成30（2018）年6月28日～7月8日）

活動開始：発災後6日目～

派遣期間：先遣隊：平成30（2018）年7月13日

～第5次：平成30（2018）年8月22日～24日（のべ81人を派遣）

【主な活動概要】

- ・学校再開に向けた方法、時期、目的等の助言支援
- ・子どもの健康チェックをして心の変化の把握
- ・子どもの心のケア
- ・教職員や保護者への心のケア研修のための講師派遣
- ・阪神・淡路大震災の教訓と兵庫の防災教育を継承
- ・授業支援、教育相談

H28 心のケア研修会の様子



【主な活動概要】

- ・学校再開に向けた方法、時期、目的等の助言、支援
- ・教職員や保護者への心のケア研修のための講師派遣
- ・子どもや教職員、保護者の話を傾聴
- ・授業支援、教育相談

H30 避難所運営の様子



5. 平時の活動

1 活動内容

(1) 各種研修活動等での指導助言

要請に基づき、県内及び他府県等の防災教育の研修会や訓練等に、EARTH員を講師として派遣し、指導助言にあたる

〈具体的な活動内容〉

- ・地域拠点型合同防災訓練でのアドバイス及び指導（県内）
- ・防災リーダー研修会（和歌山県）
- ・災害時学校支援チームおかやま養成講座（岡山県）
- ・所属校以外の学校の防災学習での講師（県内外） など

(2) 各学校での兵庫の防災教育の推進

各自の経験・知識を所属する学校における防災教育の推進に生かす

(3) 各地域の地域防災体制への協力

各地域の防災体制の整備・充実について積極的に協力する

〈具体的な活動内容〉

- ・地域の自主防災組織による防災学習会で講義
- ・地域の防災訓練でのアドバイス及び指導
- ・市町職員対象の避難所運営能力向上研修で講義 など

(4) 防災士等各種団体との連携

消防団、自衛隊、警察等の各種団体と訓練、イベント等を通じた連携

2 EARTH員のスキルアップ

(1) EARTH員の養成

防災教育推進指導員養成講座（初級・中級・上級）の実施。上級修了者の中からEARTH員を委嘱

(2) 訓練・研修会の実施

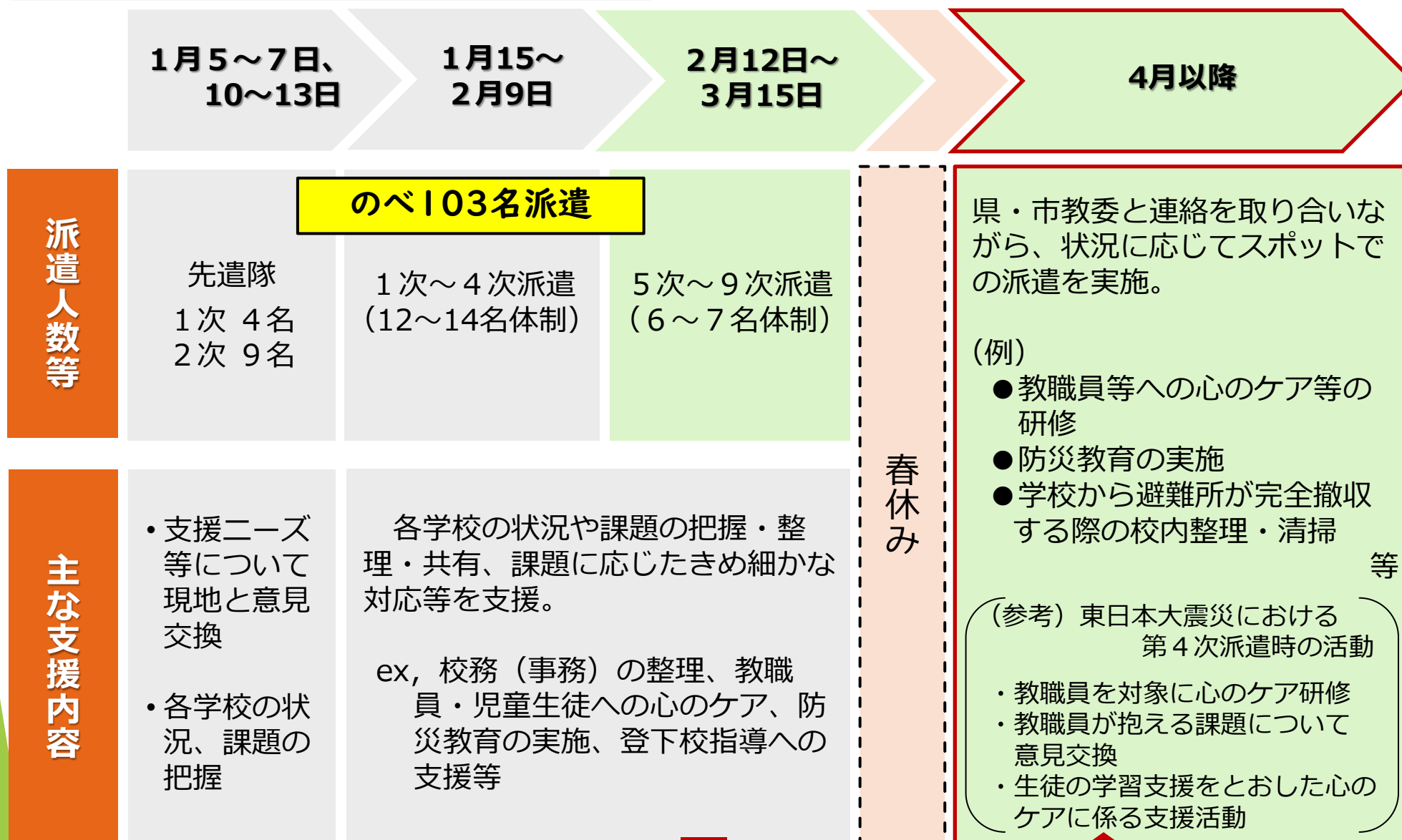
年2回の訓練・研修会を実施（第1回全県、第2回地区別）

〈派遣者数実績〉

※ 1(1)、(3)の延べ派遣者数

区 分	R3	R4	R5
県内派遣	128人	138人	183人
県外派遣	17人	36人	29人
合 計	145人	174人	212人

6. 能登半島地震にかかる派遣



(参考) 東日本大震災時の派遣実績

	派遣期間	派遣人数	派遣先
第1次	H23.3.15～3.19	3名	・宮城県教育庁 ・南三陸町の小中学校 2校
	H23.3.21～3.25	3名	・気仙沼市の小中学校 3校 ・岩沼市の小学校 1校
第2次	H23.3.21～3.25	3名	・東松島市の小中学校 6校
	H23.3.22～3.26	3名	・石巻市の小中学校 5校
第3次	H23.4.17～4.20	2名	・気仙沼市の小中学校 3校
	H23.4.17～4.20	4名	・南三陸町の小中学校 8校
第4次	H23.7.25～7.29	20名	・石巻市の小中学校 11校
	H23.7.31～8.4	20名	・気仙沼市の幼稚園、小中学校 7校園
第5次	H23.8.6～8.10	20名	・南三陸町の中学校 3校
	H24.7.29～8.2	20名	・気仙沼市の小中学校 16校
第6次	H24.7.29～8.2	20名	・南三陸町の中学校 3校
	H24.7.31～8.4	23名	・石巻市、東松島市、女川町の小中学校 24校
第7次	H25.8.20～8.22	7名	・気仙沼市、南三陸町、石巻市の小中学校 41校
	H25.8.20～8.22	5名	・石巻市の小中学校 3校
第8次	H25.8.21～8.23	7名	・石巻市、東松島市、女川町の小中学校 4校
	H26.8.20～8.22	19名	・気仙沼市、南三陸町、石巻市、東松島市、女川町の小中学校 40校
第9次	H27.8.19～8.21	18名	・気仙沼市、南三陸町、石巻市、女川町の小中学校 39校
	合計	197名	219校園

学習支援の様子

登下校指導の様子



- ①教職員も勤務できている（9割程度）
- ②自校の教職員で学校運営ができるようになっている
- ③学校から支援を必須とする声がない

等、状況が変化したことを踏まえ、3月15日で継続派遣は終了。

東日本大震災時
教職員研修会での
リラクゼーションの様子
(H23)



東日本大震災時
教職員研修会での
グループ討議の様子 (H27)



震災・学校支援チーム（EARTH）の活動について

各班の支援内容

避難所運営班



正院小学校 がれき処理



飯田高校 音楽室の片付け

- ・避難所の円滑な運営に向けて調整
- ・解放区域、動線、救援物資保管場所の指示
- ・救援物資仕分け
- ・片付け、荷物整理等

学校教育班



宝立小中学校 職員研修

- ・学校再開に向けてのロードマップ作り
- ・登下校指導、児童の安否確認
- ・職員研修、学習支援等



上戸小学校 学習支援



飯田小学校
登校見守り

学校給食班

- ・学校給食再開への計画立案支援
- ・簡易給食における栄養バランスのチェック
- ・児童生徒への給食指導を通じて食の影響による体や心に不調がないか確認



みさき小学校 給食準備



蛸島小学校 給食支援



蛸島小学校
簡易給食

心のケア班



直小学校 心のケアの絵本 読み聞かせ

- ・心のケアアンケート実施
- ・心のケアについて授業支援
- ・休み時間など児童・生徒との会話
- ・先生方への心のケア研修



上戸小学校 別室児童の対応



蛸島小学校 授業支援

（夏季休業期間 派遣）

震災・学校支援チーム（EARTH）は令和6年1月1日に発生した能登半島地震において、石川県教育委員会事務局及び珠洲市教育委員会事務局の要請に基づき、珠洲市内等へ1月5日より2次にわたり先遣隊を派遣し、その後3月15日までの間、第1～9次にわたって継続派遣を実施。その後、珠洲市教育委員会事務局より夏季休業期間における派遣要請があったため、下記のとおり被災地における支援を実施した。

- (1) 日程
令和6年7月29日（月）～8月2日（金）4泊5日
- (2) 参加者
16名（EARTH員14名、事務局2名）
- (3) 派遣先
石川県珠洲市（市内小・中・義務教育学校11校）
- (4) 支援内容
各学校を訪問の上、以下の支援を実施
 - ・児童生徒、教職員への心のケア
 - ・学校の防災教育にかかる助言（教科横断的な学習について等）
 - ・学校の防災体制にかかる助言（防災マニュアルの改訂等）
- (5) 行程
 - ・5人1組で各学校を訪問（小・中・義務教育学校11校）（2～4日目）
 - ・市内全校を対象とした心のケアにかかる全体研修会を実施（4日目）



	7月29日（月）	7月30日（火）	7月31日（水）	8月1日（木）	8月2日（金）
A M		3校訪問（5人1組） ・上戸小学校 ・三崎中学校 ・蛸島小学校	3校訪問（5人1組） ・飯田小学校 ・若山小学校 ・大谷小中学校	1校訪問 ・緑丘中学校	珠洲市教委訪問 支援報告
P M	移動	3校訪問（5人1組） ・宝立小中学校 ・みさき小学校 ・正院小学校	1校訪問 ・直小学校 ・被災地視察	珠洲市 防災教育研修会 （心のケア） （緑丘中学校）	移動

夏季休業期間 研修内容

各学校を訪問し「心のケア」、「防災教育」、「防災体制」にかかる職員研修を実施。また、緑丘中学において市内全域の学校の教職員と一部の保護者を対象とした心のケアにかかる全体研修会を実施。最終日には珠洲市教委へ活動報告を行った。

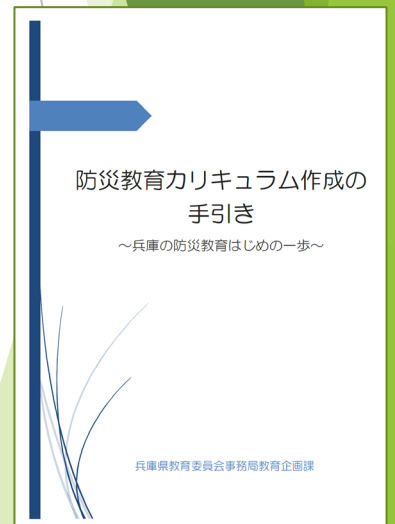
(1) 心のケア

- ・児童生徒へのケアの仕方
ex)・余震に恐怖心を抱いている子へのケア
・2学期及び発災1年を迎えるにあたって
・アニバーサリー反応の紹介
・震災を機に不登校になった子への対応 等
- ・セルフケア（リラクゼーション法）の紹介
- ・座談会を通じた教職員や保護者の心のケア



(2) 防災教育

- ・防災教育の模擬授業の実施
- ・防災学習の事例紹介
- ・兵庫県「防災教育カリキュラム作成の手引き」の紹介



(3) 防災体制

- ・避難場所、避難経路についての確認と助言
- ・防災マニュアル見直しのグループワーク
- ・兵庫県「学校防災マニュアル」の紹介



7. 防災教育推進指導員養成講座

1 趣旨

阪神・淡路大震災の教訓を踏まえた兵庫の防災教育についての理解を深めるとともに、長期的展望に立った防災教育の推進に資するため、学校における防災教育、防災体制、心のケア対応の充実を図るための防災教育推進指導員を計画的・継続的に養成する。

2 日程

(1) 初級編	令和6年6月19日(水)	於：県立総合教育センター
(2) 中級編	令和6年8月27日(火)・28日(水) 通所2日	於：兵庫県広域防災センター
(3) 上級編	令和6年11月15日(金)	於：県立総合教育センター

3 その他

原則1年間で修了

修了した方は震災・学校支援チーム（EARTH）員になるための資格を取得

養成講座の様子【初級編】



発表・演習
「副読本・学習資料等の活用」



発表・演習
「学校に避難所が開設された時の運営方法」

7. 防災教育推進指導員養成講座

養成講座の様子【中級編】



演習
「心のケア授業」



講義・演習
「災害ボランティア基礎知識」
「応急手当について」



発表・演習
「避難所運営とワークショップ」



実習
「地震体験・ロープ結索・消火器体験・備蓄倉庫見学」



7. 防災教育推進指導員養成講座

養成講座の様子【上級編】



発表・演習
「防災教育推進上の工夫」



講義・演習
「避難所における食の支援方法」



講義・演習
「心のケアの発展知識」



講義・演習
「被災した学校の早期再開の方法」

8. EARTH訓練研修会

- 1 回数（年2回）※第1回（2日間）は全体で実施、第2回（1日間）は地区別で実施
- 2 全体訓練研修会①（7月22日）
 - ・派遣報告（石川県能登半島地震）（EARTH員）
 - ・実践報告（気象災害モデル校）（EARTH員）
 - ・講義「気象災害について」
 - ・校種・職種別実践交流
 - ・地区別協議
- ②（12月18日）（8月実施予定だったが、台風のため延期された）
 - ・派遣報告（夏季休業中石川県支援）（EARTH員）
 - ・班別協議
 - ・講義「EARTH員の責務と阪神・淡路大震災の教訓の語り継ぎ」
- 3 地区別訓練研修会（7地区で実施）（9月～1月）
 - ・防災体制、防災教育を隔年で実施



9. 被災地派遣の流れ（能登半島地震）

（大規模災害が発生）

（1）被災地域の地方知事会



（2）関西広域連合防災部局（カウンターパート先決定）



（3）兵庫県教育委員会事務局

・応援要請があり次第、カウンターパート先の教育委員会に連絡し、必要に応じて派遣（先遣隊派遣）

（EARTH員に対して）

（派遣要請）

（1）事務局より先遣隊派遣依頼（直接依頼）



（2）全EARTH員にメールで派遣可能日時についてアンケート依頼



（3）アンケートをもとに派遣EARTH員を選考



（4）事務局よりEARTH員に依頼



（5）被災地へ出発！

10. EARTH員派遣時の所属校対応

1 派遣要請



2 学校長と相談



3 出張期間のクラス、業務の計画（支援に行くまでに）



4 被災地へ出発



職場の理解が大切



ありがとうございました